

2023年度 桐朋学園大学大学院 音楽研究科 修士課程 入学試験

音楽史問題

注意事項

- ◇解答者は、開始の合図があるまでは問題を開かないこと。
- ◇各設問の解答は、解答用紙の所定の場所に記入すること。
- ◇開始後61分経過した時点で、退出可能とする。退出する場合は、挙手をして、試験監督の許可を得て、静かに退出すること。
- ◇終了時、解答用紙と問題用紙の両方を回収する。

1. A 群に挙げた 15 人の作曲家について、(1) もっともかかわりの深い作品名を B 群から、(2) もっともかかわりの深い単語を C 群から、(3) もっともかかわりの深い時代を D 群から選びなさい。

A 群

- ① M. ルター ② W.A. モーツァルト ③ G. ヴェルディ ④ O. メシアン
 ⑤ G. ガブリエーリ ⑥ K. ペンデレツキ ⑦ A. コレッリ ⑧ J. デ・プレ
 ⑨ P.I. チャイコフスキイ ⑩ C. ジェズアルド ⑪ L.v. ベートーヴェン
 ⑫ R. ワグナー ⑬ A. シェーンベルク ⑭ J. シベリウス ⑮ G.d. マシヨー

B 群

- a 《ピアノとフォルテのソナタ》 b 《フィンランディア》 c 《パルジファル》
 d 《ミサ・パンジェ・リングァ》 e 《オリーブ山上のキリスト》
 f 《コラール「いざ来たれ、異教徒の救い主よ」》 g 《ファルスタッフ》
 h 《幼子イエスに注ぐ 24 のまなざし》 i 《合奏協奏曲 作品 6》
 j 《序曲「1812 年」》 k 《私は死んでゆく》 l 《ロンドン「わが終わりはわが始め」》
 m 《広島犠牲者に捧げる哀歌》 n 《ワルシャワの生き残り》 o 《皇帝ティトゥスの慈悲》

C 群

- (ア) 通模倣様式 (イ) オラトリオ (ウ) コンチェルト・グロッソ
 (エ) オペラ・セリア (オ) 宗教改革 (カ) 複合唱 (キ) トーン・クラスター
 (ク) オペラ・ブッファ (ケ) 移調の限られた旋法 (コ) 楽劇 (ク) アルス・ノヴァ
 (シ) 12 音技法 (ス) マドリガーレ (セ) フランス国歌 (リ) 交響詩

D 群

- ① 14 世紀 ② 15 世紀 ③ 16 世紀 ④ 17 世紀 ⑤ 18 世紀前半 ⑥ 18 世紀後半
 ⑦ 19 世紀前半 ⑧ 19 世紀後半 ⑨ 20 世紀前半 ⑩ 20 世紀後半

2. 以下の7つの用語について100字以内で説明しなさい。

- ① 批判全集版
- ② 2管編成
- ③ ミサ通常文
- ④ 社会主義リアリズム
- ⑤ 偶然性の音楽
- ⑥ ブルゴーニュ楽派
- ⑦ 性格的小品 (キャラクター・ピース)

3. 以下の4問より2つを選んで400字以上600字以内で答えなさい。

- ① ミサ曲について「ルネサンス・バロック」「古典・ロマン派」「現代」からそれぞれ1曲ずつを選び、その性格を比較しなさい。
- ② ロマン派のピアノ独奏曲から2つを選び、その中に見られる「標題音楽」的な特質について記しなさい。
- ③ 特定の世紀をひとつ選び、その時点におけるオペラの特徴について、フランス・イタリア・ドイツ（オーストリア）の3つの地域を比較しなさい。
- ④ 管弦楽曲における管楽器と弦楽器の用法の差異について、具体的な曲名を2つ以上挙げながら説明しなさい。

